

大根の間引き菜への農薬(粒剤)使用について

1 つまみ菜と間引き菜とは

通常の収穫時期より早く収穫したもので、つまみ菜は本葉が概ね2枚以上のもの、間引き菜は本葉が概ね4枚以上のものをいいます。

2 大根の「間引き菜」を食用としたい場合、播種時に殺虫剤(粒剤)を使用できるか

(1)大根に使用する農薬は、「つまみ菜」「間引き菜」を想定して作物残留試験が課せられた唯一の野菜です。登録を得る段階で、間引き菜においても残留農薬調査を実施しています。

(2)残留上問題のある農薬、安全性が確認されていない農薬には、「間引き菜、つまみ菜に使用しない」旨を記載してあります。このため、「間引き菜」「つまみ菜」には使用できません。

(3)大根に使用できる農薬(粒剤)は次の3剤で、これ以外の農薬(粒剤)は使用できません。

農薬名	使用量	時期	使用方法
ダイアジノン粒剤5	4～6kg/10a	播種時	全面又は作状土壌混和
モスピラン粒剤	3kg/10a	播種時	播種溝土壌混和
フォース粒剤	4kg/10a	播種時	播種溝土壌混和。全面土壌混和の場合の使用量は6～9kg/10a

平成26年3月26日現在の農薬登録情報に基づいています。

3 大根以外の野菜をつまみ菜、間引き菜として利用する場合

(1)播種又は定植時に使用する粒剤は、作物残留試験を実施していないので、「間引き菜」「つまみ菜」には使用できません。

(2)大根以外は、通常より早い段階での収穫を想定していないため、残留の恐れがあります。

(3)「つまみ菜、間引き菜には使用しない」と記載してある主な農薬は下記のとおりです。

農薬名	農薬名	農薬名
オルトラン粒剤	アクタラ粒剤	ガゼット粒剤
ジメトエート粒剤	ジェイエース粒剤	オンコル粒剤
スタークル粒剤	アドマイヤー粒剤	アルバリン粒剤
ダーズバーン粒剤		